



技術史教育

第116号

2018.10.31

Education for History of Technology

第116号 目次

日本技術史教育学会2018年度全国大会の開催にあたって……………岡崎昭仁(1)
 日本技術史教育学会2018年度全国大会開催案内……………岡崎昭仁(2)~(3)
 関西支部行事案内・会告・編集後記……………(4)

【全国大会】

日本技術史教育学会2018年度 全国大会・研究発表講演会の開催にあたって



2018年度全国大会実行委員会

実行委員長 岡崎昭仁(神奈川工科大)

日本技術史教育学会2018年度全国大会が神奈川県厚木市で開催されることとなりました。皆様を厚木市にお迎えすることができ、大変光栄に存じます。江戸時代に大山詣で賑わった大山を間近に望み、大学近くを流れる荻野川沿いにはわさび田もあり、猿や鹿を見かける機会も多く、都市化が進むものの風光明媚始な厚木市です。大学近隣の鳶尾団地造成の際には、発掘調査が行われ、300近くの竪穴式住居跡、高床式住居跡が見つかり、これらは8世紀から11世紀のものと考えられ、出土した遺物調査では、かなり恵まれた生活をしていました。古代より住みやすい土地であったようです。

一方で、市内には本学を含めた5つの大学、日産テクニカルセンター、日産先進技術開発センターがあります。ロケーション的には、新宿、横浜、小田原から電車で約50分の場所に位置しています。都心、横浜、小田原・箱根方面へのアクセスは便利です。また、二次対戦中には、伊勢原市を隔てた秦野市において、横須賀より疎開した国産ジェットエンジン「ネ20」の試運転が実施されていたとのことで感慨深いものがあります。なお、試運転時には、東北帝大から専門家が合流し、産官学連携が既に実践されていました。

会場となります神奈川工科大学は昭和63年に幾徳工業大学より改名し、そのルーツは昭和38年に開校した幾徳工業高等専門学校に遡ります。ご存知の方のいるかと思いますが、母体は大洋漁業になり、経営者であった中部家では「幾徳会」と称する育英資金を多くの学生に貸与し、各地に講堂などを寄付してきました。当時日本には理科系統の学校が少なかったことから、小さい規模ながらも学ぶ

者の負担を少なく、空気の良い所で心おきなく勉強に励めるようにと建学されました。「考え、行動する人材の育成」

を建学の理念とし、教育理念は、「学生本位主義」です。

神奈川工科大学は、工学部、創造工学部、情報学部、応用バイオ科学部、看護学部の5学部と大学院工学研究科が設置され、学生数約5,000人の多彩な内容を持った理工系大学です。工学部には機械、電気電子、応用化学に加えて、臨床工学科を擁し、工学応用を実践する創造工学部には、ロボットに加えて、日本国内では数少ない家電を題材とするホームエレクトロニクス学科、自動車を題材にする自動車システム開発工学科があります。自動車システム開発工学科では、機械工学に加えて、電気電子、情報、そして3年間のPBL科目群により自動車産業を担う研究開発者の卵を育成しています。設備面では日本では本学唯一と言える自動車工学棟があり、ここにはドライビングシミュレーター、エンジン実験ベンチ、シャーダイナモ、衝突実験設備を持ち、最先端の自動車研究が行える環境があります。

大会の翌日は、厚木市の歴史に触れたいと考えていましたが、郷土資料館が建替え中で休館なので、箱根町へ出掛けたいと思います。箱根町立郷土資料館で箱根の歴史に触れ、その後は箱根登山鉄道で3度のスイッチバックを味わいながら、強羅、早雲山方面を巡りたいと考えております。

これからは寒さも増してきますが、皆さまと厚木の地にてお会いできますことを楽しみにしております。多数の方々のご来駕をお待ち申し上げます。

日本技術史教育学会 2018 年度

全国大会(神奈川・厚木)開催案内

2018年度全国大会実行委員会 実行委員長
岡崎昭仁(神奈川工科大)

日 時:2018年12月22日(土), 9:00~17:40
主 催:日本技術史教育学会
共 催:日本メカニズムアーツ研究会
場 所:神奈川工科大学 K2棟1405教室 〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030

7号) プータンのGNH思想とロバート・オーウェンの環境
決定論の技術史的な一考察
白井 一(NPO法人国際建設機械専門家協議会)

休 憩 15:10~15:15

【 プログラム 】

9:05 実行委員長挨拶

《技術史・技術文化史Ⅰ》

- 9:15~9:35 曾文ダム建設をめぐる諸問題 ○武長
玄次郎(木更津高専)、山下将央(徳明財經科
技大)
- 9:35~9:55 戦前・戦中の戦闘機開発に見る開発
力の比較 岡崎昭仁(神奈川工大)
- 9:55~10:15 鉾山地区の検証Ⅱ-佐渡金銀山大
滝間歩および弥吉間歩- ○久間英樹(松江高
専)、福岡久雄(東京電機大)

休 憩 10:15~10:25

《特別講演》10:25~11:35

講 師:石綿良三(神奈川工科大教授)
タイトル:なぜ間違いは伝達・拡散するのか? (流体力
学に関する誤認識)

昼 食 11:35~12:45

《技術論・科学教育・技術教育》

- 12:45~13:05 機械製図の文化の変革に関する
研究 第17報 製図の文化・製図論について(そ
の4) ○平野重雄(東京都大、(株)アルナー)、喜
瀬晋(株アルナー)、関口相三(株アルナー)、奥坂一
也(株アルナー)
- 13:05~13:25 各種機器分析の化学史と化学分
析手法を工学教育に活用する一考察-応用化
学の実用化の過程を核に、生徒の好奇心を引き
出す高等学校理科授業実践- ○丸山晴男(足
利大)、中條祐一(足利大)
- 13:25~13:45 機械工学教育の教材として使用可
能な小型競技用電気自動車の開発
高 峰(西日本工大)

休 憩 13:45~13:50

《技術論・技術文化》

- 13:50~14:10 パネル型ソーラークーラーの梱包箱への
応用 中條祐一(足利大)
- 14:10~14:30 日本における大規模風力発電導
入の歴史(第2報)
○牛山 泉(足利大)、飯野光政(足利大)
- 14:30~14:50 東京・荒川区における野菜生産
吉田喜一(都立産技高専)
- 14:50~15:10 プータンと日本の技術交流小史(第

《技術史・技術文化史Ⅱ》

- 15:15~15:35 タ克拉玛カン砂漠の謎の民-アリア系
民族とその技術- ○下間頼一(元関西大)、緒
方正則(元関西大)、塩津宣子(技術文化史研
究会)
- 15:35~15:55 古代メソアメリカ文明遺跡の実地調
査研究-第3報 古典期最大の国際都市・テオテ
ィワカン文明- 渡部紘一(元松江高専)
- 15:55~16:15 中国の石造アーチ橋の実地調査研
究-京杭大運河北端の通恵河に架かる永通橋
(通称:八里橋)-
○南 正晴(元三菱重工)、下間頼一(元関西大)
- 16:15~16:35 芥川龍之介「トロッコ」と豆相人車鉄道
山館 順(サレジオ高専)

《臨時総会》 17:00~17:40

《懇 親 会》 18:00~19:45
会場:情報学部棟12Fカフェテリア

《見 学 会》

集合時間:12月23日(日)
集合場所:9:00 小田原駅 箱根登山鉄道改札口
見 学 先:箱根郷土資料館、箱根登山鉄道、強羅公
園ほか
解 散:小田原駅(予定)

【 参 加 費 】

・研究発表講演会参加登録費:3000円
・懇親会参加費:4000円
・見学会:当日1000円程度(保険料・入館料)徴収、電
車運賃と昼食代は各自支払
昼食は、会場近くに飲食施設がございますので、そ
ちらをご利用下さい。

【全国大会・研究発表講演会、見学会参加申込み】
12月14(金)17時必着で、同封の参加申込用紙に記
入し、下記まで郵送またはFAXでお申し込みくださ
い。参加用紙をメールでご希望の場合、メールでのお申
込みも可能です。参加者名簿作成や予約などのため、期
日の厳守に御協力ください。

【 申 込 先 】

〒113-0034東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル
6F(株)プラスワン気付 日本技術史教育学会2018年
度全国大会実行委員会 FAX:03-3835-2494

【 実 行 委 員 】

岡崎昭仁(神奈川工科大)、武長玄次郎(木更津高
専)、山館 順(サレジオ高専)、鈴木夏夫(玉川大)、堤
一郎(茨城大学)

【会場案内】



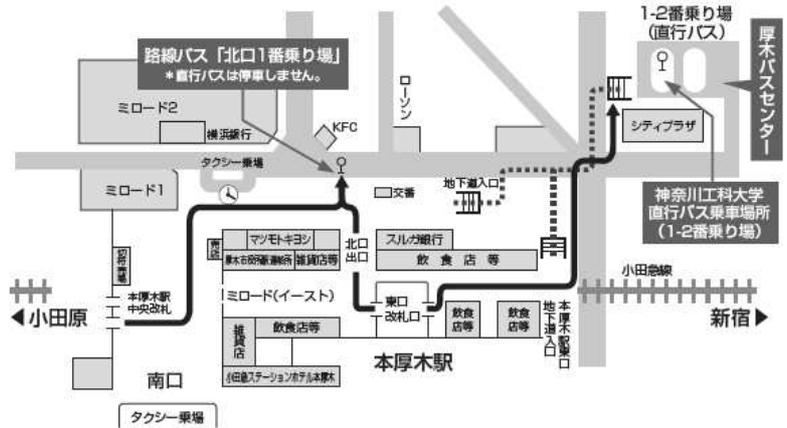
主要駅からのご案内

- ・新宿-[小田急線]-本厚木 約52分
- ・横浜-[相鉄線]-海老名-[小田急線]-本厚木 約45分
- ・小田原-[小田急線]-本厚木 約40分

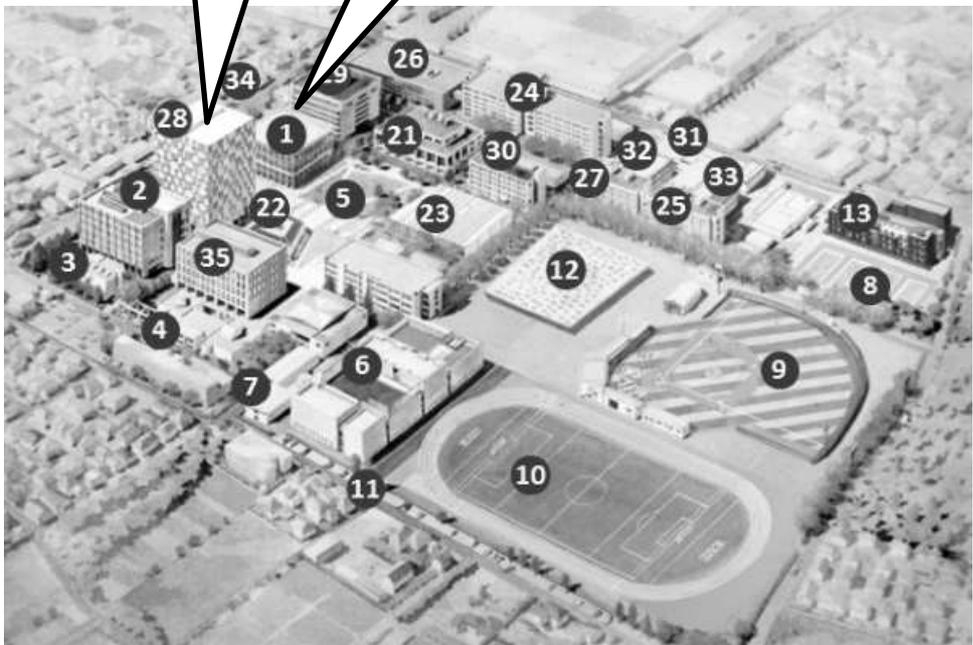
バス案内

本厚木駅北口1番乗り場より、

- ・「青年の家」行き
- ・「神奈川工科大学経由・鳶尾団地」行き
- 「神奈川工科大学前」下車



懇親会々場12F 会場4F 1405



【 2019 年機械設計・技術史国際会議の開催 】

実行委員長 渡部 紘一

2019 年機械設計・技術史国際会議を下記要領で開催する運びになりました。

記

1. 主 催: 日本技術史教育学会、北京航空航天大学、北京建築大学
2. 開催日: 2019 年 9 月 9 日(月)~9 月 10 日(火)
3. 開催場所: 関西大学千里山キャンパス
詳しくは同封の参加募集に述べています。論文原稿は和文または英文、中国文の 6 ページとし、発表は機械設計と技術史の 2 部門に分けて行い、中国語と日本語の通訳が付きます。多くの会員の皆様が発表されることをお待ちしております。

【 2018 年度関西支部総会

・研究発表講演会募集 】

関西支部2018年度総会・研究発表講演会の研究発表を募集します。

◆開催日時: 2019年3月10日(日)9:30-17:00

◆開催場所: 大阪産業大学梅田サテライトキャンパス
(大阪駅前第3ビル19階レクチャールームA)

◆研究発表講演の申込方法: 件名を「2018年度日本技術史教育学会 関西支部総会・研究発表講演会申込」と書いて下記①~⑤までをA4版用紙に記載し、下記申込先にてお申込みください。

①講演者名及び所属名(登壇者は、2018年度会費を納入済みであること。連名の場合は、講演者名の前に○印をつける。同一講演者の場合、一件のみのお申込みとさせていただきます)

②主題、副題

③講演者連絡先(住所・TEL/FAX・メールアドレス)

④キーワード: 5つ程度

⑤講演発表時使用機器(パワーポイント。PCは持参してもよい)

◆申込先: 〒655-0046 神戸市垂水区舞子台7丁目3-2-702 南 正晴 (関西支部 幹事)

TEL: 078-747-0294 Email: m.minami@fork.ocn.ne.jp

◆発表申込締切: 2019年1月9日(水)17時必着

◆発表原稿提出期限: 2019年2月8日(金)17時必着
ページ数は、3~4ページに変わりました。メールの添付

ファイル(PDF)にて送付ください。

◆会場の使用時間の制約のため、申込みが多い時は受付先着順、または、発表時間20分を15分に短縮することがあります。

*見学会は、2019年3月9日(土)13時から新神戸駅近くの竹中大工道具館と、元町の神戸海洋博物館を予定しています。概要は、ニューズレター第117号でお知らせします。

【 訃 報 】

三輪 修三氏(青山学院大名誉教授・本学会顧問)が 9 月 19 日に逝去されました。87 歳でした。長年本学会にも多大なるご尽力いただきました。ここに感謝を申し上げますと共に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

【 会費納入のお願い 】

2018年度会費未納の方はお手元の振込用紙を使い納入してください。前年度までの会費未納者も早急な対応をお願いします。

【 理 事 会 議 事 録 】

◆第153回(通算190回)理事会

日時: 2018年9月29日(土), 15:00~18:00, 場所: サレジオ高専104教室, 出席者: 牛山・堤・山館・武長・渡部・鈴木・岡崎・桑原・穂積
議題0) 前回(第152回)議事録承認, 1) 各部門報告<総務(会員動向, 会費納入状況, 学会HP更新, 編集(ニューズレター編集, 学会誌編集進捗状況), 企画(2018年度全国大会に関して, 2)国際会議に関して, 3)学会創立25周年に向けて, 4)その他, 5)次回理事会: 2018年12月 予定

【 編 集 後 記 】

今年度の全国大会は神奈川工科大学で開催いたします。見学会は箱根・強羅周辺を散策いたします。寒い時期ではございますが、是非ご参加ください。また、2019年9月に関西大学に於いて機械設計・技術史国際会議を開催するため、準備を進めております。同封いたしました募集に関するご案内をご覧くださいようお願いいたします。

(穂積洋一)

日本技術史教育学会ニューズレター 第116号

2018年10月25日 印刷

2018年10月31日 発行



技

発行者
編集

術

Education for History of Technology

日本技術史教育学会 会長 牛山 泉
日本技術史教育学会
(株) プラス・ワン気付 日本技術史教育学会 事務局
〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル6F

TEL/FAX: 03-3835-2494

E-Mail: jseht@nifty.com